

沖縄科学技術研究基盤整備機構	事務及び事業の見直し
	<p>【大学院大学の設置準備】</p> <p>○設置準備業務の体制の整備を行い、教育研究分野等の大学院大学の在り方等について早急に具体化を図るものとする。</p> <p>○その上で、大学院大学の設置に向けた諸準備を着実に進めることとし、次期中期目標・中期計画においては、開学までに必要な、①大学院大学の教育課程、研究・教育組織、組織規程等の検討、②開学時に必要な主任研究者の採用、③研究施設等大学院大学施設の整備等の準備活動について、具体的かつ明確な目標を示すとともに、毎年度具体的かつ明確な計画を策定し、その進捗よく状況の検証を行うものとする。</p> <p>【研究開発の推進】</p> <p>○世界最高水準の大学院大学を開学することが使命であることにかんがみ、これにふさわしい研究者を確保するための研究者の採用基準を明確にするものとする。また、研究の成果について、使命に照らし十分な成果が上がっているかとの観点から、厳格な評価を行うものとする。</p>
	運営の効率化及び自律化

	<p>【内部統制・ガバナンス強化】</p> <p>○世界最高水準の大学院大学の設置のため、業務内容及び運営体制が高度に国際的なものとなっている中、独立行政法人としての適切かつ効率的な運営を確保するため、引き続き、コンプライアンス体制の整備等、内部統制・ガバナンスの充実に努める。</p> <p>【自己収入の増大】</p> <p>○競争的研究資金の獲得等、自己収入の増大に向けた定量的な目標を平成20年度内に策定する。</p> <p>【保有資産の有効活用】</p> <p>○沖縄科学技術研究基盤整備機構の本部等として利用しているシーサイドハウスについて、有効な資産活用が行われるよう引き続き検討を行うものとする。</p>
--	---